

# 語る決意に根差す風土

講演が本間氏 日本建築家協会 名誉会員

講演会で決意を語った本間利雄氏

山形市・山形グランドホテル

「土と建築」

講師 日本建築家協会名誉会員

本間利雄氏



本間利雄設計事務所（山形市）代表の本間利雄氏が、日本建築家協会の名誉会員に就任したことを記念した講演会が十三日、山形市の山形グランドホテルで開かれた。本間氏は、多くの建築家との出会いを振り返るとともに、風土に根差した建築物を引き続き造っていく決意を示した。

日本建築家協会の東北支部や山形地域会などによる実行委員会の主催。東北各地の建築関係者ら約百二十人が参加

した。

本間氏は、建築が芸術の一分野であることを認識させられ、大きな影響を受けたという吉村順三氏ら、建築家としての歩みを方向付けた人々との出会いを振り返り、「近代建築は風土や場所を失った。どこに行っても駅前が同じ姿なのは、われわれ建築家の責任」と述べた。

この上で「風土や大地から立ち上がってくるような建築であるべきだ」と強調し、飯豊連峰の山並みや温身平のブナ林、

一九三〇年代の小国町の風景などが自らの原風景とした。さらに、原風景を基に、風土を意識した作品群として、川西町フレンドリー・プラザ、山寺風雅の国、山形美術館などを紹介した。